

元小結舞の海さんが講演

〜甲賀町神区健康フォーラム〜

元 大相撲小結で大相撲解説者の舞の海(うみのうみ)秀平(ひでひら)さんが3月22日、里山(さとやま)かむら交流館(りゅうくわん)で「可能性への挑戦」と題して講演を行いました。甲賀町神区が主催したもので、約180名の区民が熱心に聞き入りました。

現役時代、小柄ながら多彩な技を繰り出し、体格の勝る相手を翻弄(ほんろう)し、人気を呼んだ舞の海さん。相撲界に入ったきっかけや、身長が不足(ひた)らず苦(くる)勞(らう)した新弟子(しんし)検査(けんさ)でのエピソード(えいじ)など、自らの相撲人生(すもうじんせい)を紹介(しょうかい)し、「発想(はつそう)を変(か)えることが大切(たいせつ)。相手(かた)を横綱(よこづな)と思(おも)わず、同じ実力(じつりき)だと思(おも)うことで力(ちから)が出(で)る。あきらめず(あきらめず)にがんばれば道(みち)は開(ひら)ける」と語りかけました。



横綱との取組の様子を紹介する舞の海秀平さん

「ご近所福祉」を考える

〜甲賀市地域福祉大会〜

少 し前(ま)まで当たり前(あたりまえ)だった「向(む)こう三軒(さんげん)両隣(りやうりん)」。そこには、地域(ちいき)の実態(じつたい)に応(こた)え、住民(じゅうみん)同士(どうし)が支(た)え合(あ)うまちづくりの原(は)点(てん)がありましたが、最近(さいきん)では、地域(ちいき)の連帯意識(れんたいいしき)の希薄(きぱく)化(か)が進(すす)んでいます。

そうした中(なか)、地域福祉大会(ちいきふくしたいかい)が3月14日、碧水(あきみづ)ホールで開催(かいがい)され、参加(さんか)した約100名(な)が「ご近所福祉(ごきんじょふくし)」について考(かん)えました。市内(しやうちん)各地(こくち)の健康福祉会(けんこうふくしかい)、「ご近所福祉会(ごきんじょふくしかい)」の活動(かつどう)についてパネルトークがあり、参加者(さんかしゃ)が自(みづか)らの地域(ちいき)の福祉活(ふくし)動(どう)を見つめ直す機(き)会(かい)となりました。

大会(たいかい)には中嶋市長(なかつしましやう)も出席(しゅっせい)、福祉行政(ふくしぎょうせい)には重点(じゅうてん)的に取(と)り組(く)んでいくとあいさつし、皆さん(みなさん)には地域福祉(ちいきふくし)への支(た)援(えん)をお願い(ねが)いました。



地域福祉活動について語るパネラーの皆さん

時代絵巻みやびやかに

〜あいの土山齋王群行〜



華やかな道中舞

齋 王(おう)とその一行(いっぎやう)の京都(きょうと)から伊勢(いせ)まで旅(たび)を再(た)現(げん)した「第12回(だいじふにじゅうにかい)あいの土山齋王(とやまさいおう)群行(ぐんぎやう)」が3月29日(さんげつにじゅうくにち)に開催(かいがい)されました。

神山(かみやま)千明(ちあき)さん(信楽町(しんがくまち))が務(と)める齋王(さいおう)を乗(の)せた御腰(ごこし)興(きよう)ととも(とも)に、女(おんな)人(ひと)列(り)など約80名(な)が、大野(おの)小(こ)学(がく)校(がう)から垂水齋王頓宮跡(たきみづさいおうとんみやあと)まで約3キロ(きり)を練(ねん)り歩(あ)きました。過去(こくこ)2回(に)は雨(あめ)で、今年(ことし)は3年(さんねん)ぶりの群行(ぐんぎやう)とあり、沿道(えんどう)は大勢(おほしやう)の見物客(けんぶつきゃく)でにぎわいました(表紙(ひょうし)写真(しやうしん))。



一行の宿泊場所とされる垂水齋王頓宮跡に到着した齋王

お茶の香り和菓子に包み

〜甲南高校ブランド誕生〜

甲 南(みなみ)高(こう)校(がう)生(せい)生(せい)が地産(ちさん)の食(じ)材(ざい)を使(つか)った和菓子(わがし)作(つく)りに挑(も)戦(せん)し、2年(に)生(せい)5名(な)が3月18日(さんげつじゅうはちにち)、中嶋市長(なかつしましやう)に試食(しじき)品(ひん)を届(と)けました。

出来上(できあ)がったのは、同校(どうがう)で栽培(かいがい)された緑茶(りよく)を粉末(こな)にし甲賀産(かかさん)のもち米(もちこめ)に混(ま)ぜた生地(なまぢ)に、こしあんを包(つつ)んだもの。茶葉(ちや)の分量(りやうりやう)を変(か)え苦味(くみ)を調整(ていせい)するなど、試作(しさく)を重ね(かさね)ての完成(せいせい)となりました。早速(さつそく)試食(しじき)した市長(しやうじやう)は、「昔(むかし)ながらの素朴(すぼく)な味(あじ)。さわやかなお茶(ちや)の香(か)りが広(ひろ)がり、甲賀(かか)にふさわしいお菓子(おがし)」と太鼓判(たいこばん)を押(お)しました。

緑豊(りよく)かな甲賀(かか)の地(ち)にちなんで「里山(さとやま)」と名(な)付(つけ)られたこの和菓子(わがし)は、4月1日(しがついちにち)から甲南(かみなみ)地域の菓子店(かしてん)や新名神(しんめいじん)の甲南(かみなみ)パーキングエリア(ぺーきんぐえりあ)などでも販(はん)売(り)されています。



中嶋市長に和菓子開発の苦勞話をする甲南高校生

練習の成果を披露

〜まなび・たいけんフェスタ2009〜

か ふか生涯学習館(しやうがいがくじゆん)で3月22日(さんげつにじふにち)、「まなび・たいけんフェスタ2009」が開催(かいがい)され、同館(どうくわん)で活動(かつどう)するサークルや団(だん)体(たい)が1年(いちねん)間の学(がく)習(じゆ)の成(せい)果(くわ)を発(はつ)表(ひょう)しました。

音楽(おんがく)や舞踊(まいうど)などのステージ発表(はつぱふ)や、書道(しよどう)・写真(しやうしん)などの作品展(さくひん)示(し)のほ(ほ)か、押し花(おしはな)や気功体操(きくうたいそう)、木(き)のパズル(ぱずる)などの体験(たいけん)コーナ(こうな)ーも設(た)けられました。

また、星型(せいぎやう)のたこ作(つく)り会(かい)場(ば)では、青少年(せいしやうねん)育(いく)成(せい)員(いん)が作(つく)り方(かた)を指(さ)導(どう)しました。参加者(さんかしゃ)は、アニメ(アニメ)のキャラクタ(きゃらくた)ーなど好(この)きな絵(え)を描(か)いてオリジナル(オリジナル)のたこ作(つく)成(せい)。親(おや)子(こ)で連(れん)たこ(たこ)にす(す)ることもでき、早速(さつそく)星(せい)の形(かたち)のたこが大空(おほぞら)に舞(ま)っていました。



熱気あふれるダンスを披露する子どもたち

観て演じて 伝統芸能に親しむ

〜狂言体験教室〜

ユーモラスな狂言(きやうげん)の世界(せかい)に触(ふ)れる狂言(きやうげん)体験教室(たいけんかいしやう)が3月27日(さんげつにじゅうしちにち)、あいこうか市民(しみん)ホールで開催(かいがい)されました。

参加者(さんかしゃ)は、狂言(きやうげん)の基礎知識(きそちしき)について解説(かいせつ)を聞いた後(のち)、狂言師(きやうげんし)による「千鳥(ちどり)」と子供(こども)狂言会(きやうげんかい)のメンバーによる「しびり」を鑑賞(かんぎやう)し、日本の伝統芸能(でんどうげいねい)を間近(まぢか)で楽(たの)しみました。

狂言(きやうげん)の動き(うごき)や発声(はつせい)などを体験(たいけん)するワークショップ(わーくしよっぷ)では、茂山(しげやま)狂言会(きやうげんかい)の網谷正美(あみやまのささみ)さんが指導(しゆどう)。独特(とくどく)の言い回(いひまわ)りや笑(わら)い方(かた)、重心(じゆうしん)を前(まへ)にかける立ち方(たちかた)や歩き方(あしきかた)など、基本的(きほんてき)な動作(どうさく)を教(おし)わった子ども(こども)たちが、狂言(きやうげん)師(し)になりき(な)り演(あ)じるともたもた(もたもた)した一面(いっぺん)もありました。



間近で演じられる狂言を楽しむ皆さん